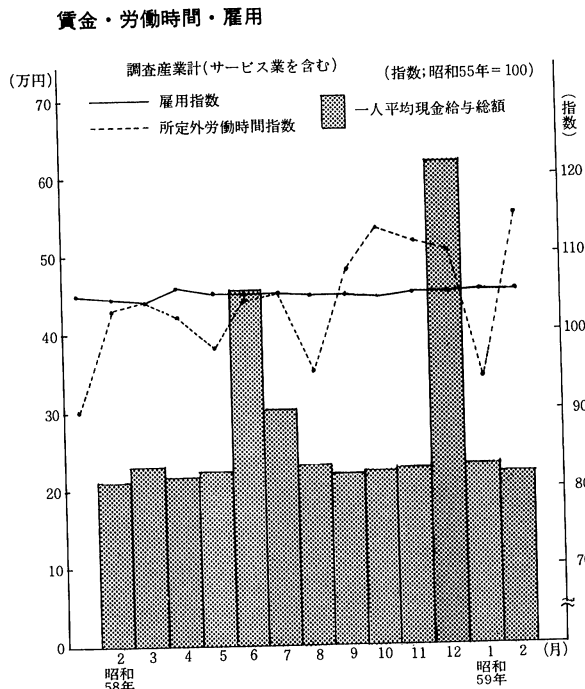
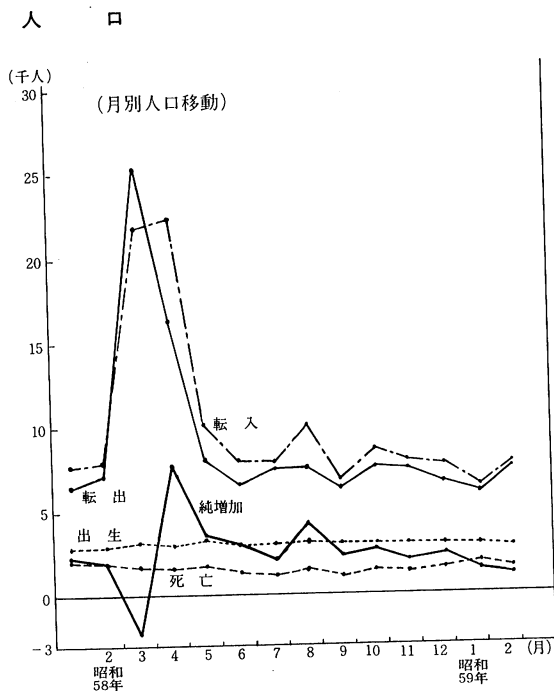
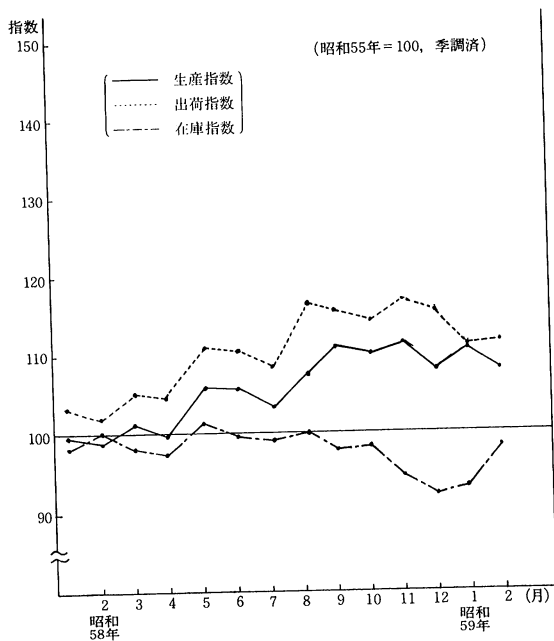


●今月の主な動き

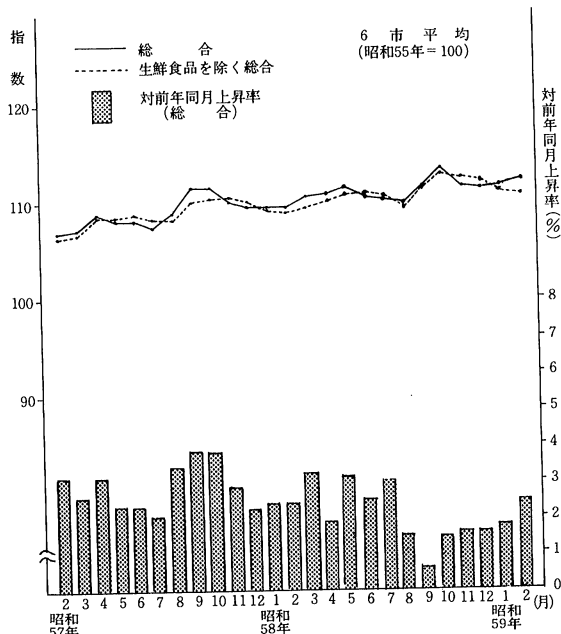
今月の主な動き



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



今月の主な動き

主な動きのあらまし……………企画部統計課

■人 口（3月1日）

本県の人口は、2月中に1,301人増加し、3月1日現在で2,675,022人になった。昨年3月1日と比較すると29,881人(1.13%)の増加であり、対前年同月比増加数が3万人を下回った。

内訳は、自然動態で1,120人(出生2,772人、死亡1,652

人)増加したが、社会動態では今月も増加は181人(転入7,716人、転出7,535人)とわずかである。

市町村別では、増加14市44町村、減少4市29町村、増減なし1村である。

世帯数は185世帯増加し、740,070世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用（2月）

1. 平均賃金の推移

2月の常用労働者（「調査産業計」サービス業を含む。）1人1ヵ月平均現金給与総額は215,535円で前月に比べ2.2%減(前年同月比3.9%増)であった。

このうちきまって支給する給与は213,679円で前月に比べ2.5%増(前年同月比3.9%増)であり、特別に支払われた給与は1,856円で前月に比べ10,261円減であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は178.3時間で、前月に比べ10.7%増(前

年同月比4.1%増)であった。

このうち所定内労働時間数は160.6時間で、前月に比べ9.9%増(前年同月比3.4%増)であり、所定外労働時間数は17.7時間で、前月に比べ22.1%増(前年同月比11.3%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、104.7で、前月と保ち合い、前年同月に比べ0.5ポイント増であった。

■鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉（2月）

昭和59年2月の本県の「鉱工業指数」(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が108.2、出荷が111.6、在庫が98.3で、前月比は、生産が△2.5%低下、出荷が0.1%上昇、在庫が5.5%上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が9.5%、出荷が9.8%上昇、在庫が△1.8%の低下であった。

生産を業種別にみると、鉱業、石油・石炭製品、鉄鋼業等が上昇し、精密機械、一般機械等が低下した。

出荷を業種別にみると、窯業土石製品、鉱業、食料品・

たばこ等が上昇し、一般機械、精密機械等が低下した。

在庫を業種別にみると、輸送機械、一般機械、繊維等が上昇し、鉱業、精密機械等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、非耐久消費財、建設財等が上昇し、資本財、耐久消費財等が低下した。出荷では、非耐久消費財、建設財等が上昇し、資本財、耐久消費財等が低下した。在庫では、資本財、耐久消費財等が上昇し、非耐久消費財等が低下した。

■消費者物価指数（2月）

昭和59年2月の茨城県消費者物価指数は、総合指数で112.4(昭和55年=100)となり、前月比(+)0.5%の上昇、対前年同月比(+)2.6%の上昇となった。

今月上がった主な項目……野菜・海藻(+)
18.5% (うち
鮮野菜(+)
28.1%)、乳卵類(+)
4.8%

今月下がった主な項目……衣料(-)
9.1%、シャツ・下着(-)
2.5%、油脂・調味料(-)
2.0%

費目別指数

(昭和55年=100)

区分	指数	上昇率(%)		区分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	112.4	0.5	2.6	保健医療	108.5	0.3	2.9
食料	116.2	2.8	4.8	交通通信	106.6	△0.1	△2.3
住居	112.8	0.1	2.5	教育	127.7	0.0	6.5
光熱・水道	108.4	0.3	△1.2	教養娯楽	112.8	△0.2	2.0
家具・家事用品	104.5	△0.4	0.2	雑費	112.3	△0.3	4.2
被服及び履き物	104.7	△5.0	2.4	生鮮食品を除く総合	111.3	△0.3	1.9